

二足のわらじで頑張り
新天地いわきで
居酒屋開店

あきもと ひろし
秋本 浩志

居心家 大黒さん（イゴコチ ダイコクサン）皿洗い&営業

昭和51年（1976）、大熊町生まれ。
社労士事務所 Green で特定社会保険労務士・
宅地建物取引士としても働いている。

父が大熊町で営んでいた店の名前は「スタジオナンバーワン」、
ダンスやカラオケが楽しめる店。双葉郡の人なら「ああ、あそこかい」
とすぐに分かってもらえる店でした。

双葉郡は社交ダンスが盛んで、ダンス仲間のパーティーや二次会で
利用される方も多かったと聞いています。

私もいずれ店を継ぐつもりで大熊に戻っていたのですが、東日本大震災と
原発事故で状況は一変、震災の翌日にはバスに乗り、全町民の避難が始まりました。
田村市都路地区、船引地区、三春町、会津へ…。そうしてわが家と仕事を失いました。
それでも「きっと親に何か残してあげたい」という思いがつのり、2019年
いわき市に居酒屋を出しました。店を始めてからは、今まで会うことのなかった
人たちとも知り合うことができました。また震災後にいわきに移り住んだ
同郷の人も利用してくれたので、そういう方や、もちろん地元いわきの方、
そして震災後に他県から来た方など、たくさんの方に来ていただき、
ずうっと仲良くしてもらっています。それがこの店の理想、私の心の支えですね。
震災後に社労士の資格も取得して開業しました。
今後もしっかりいわきに根をおろし、
二足のわらじで頑張っていきたいと思っています。



大熊町で30年以上親しまれていた
「スタジオナンバーワン」の店内